

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			41
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			64
	気分性	感情のまま行動			50
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			66
	規則性	常識的・順法的			71
積極型	競争性	勝気な・積極的			59
	自尊心	気ぐらいが高い			50
自制型	慎重性	見通しをつける			69
	弱気さ	取越苦労・遠慮			57

■この人の中心性格は「努力・規則性」および「自制・慎重性」であるが、「努力・持続性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・規則性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ

仕事にも生活にも几帳面で、キチンとしていなければ気がすまないタイプである。手掛け始めたことは、地道にコツコツと努力し、途中で投げ出すことなく最後までやりぬこうとする。徹底性もあり、ときにそれがしつこいという印象になる。常識からはずれた行動をとることなく、あくまでも社会規範に沿った生活を重んじている。そのため杓子定規な判断も多く、斬新さや柔軟さに欠けるきらいがあるが、大きな失敗をしないことは取り柄といえる。また、過信せずある程度の見通しがつくまで行動しない慎重さもある。他人の意見なども自分が納得するまでは、簡単に受け入れることはあまりない。状況の変化に対しては、徹底的に理由を調べてから次の行動へ移ろうとする。そして、自分と他人を比べて考えるようなことはなく、他人には思いやりをもって接しようとしている。よくいえば、自分を抑える良さととれるが、一方では気弱で引っ込み思案であり快活な面がないともいえる。努力型と慎重性、弱気さをもった神経の細かい過敏な性格である。

●もう一方の性格特性

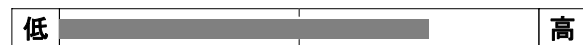
内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるといふサビの部分がある。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			33
客観・科学型			67
社会・経済型			53
心理・情緒型			32
審美・芸術型			70

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。
芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			52
協調性			61
責任感			66
自己信頼性			44
指導性			50
共感性			63
感情安定性			45
従順性			58
自主性			44
モットラム傾向			50

仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つようとする。

環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			60
自律 欲求			42
求知 欲求			54
危機 耐性			50
勤労 意欲			61
顕示 欲求			48
支配 欲求			49
親和 欲求			62
秩序 欲求			68
物質的欲望			64

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

仲間と競いあっていくより、穏やかな環境の中にいたい。

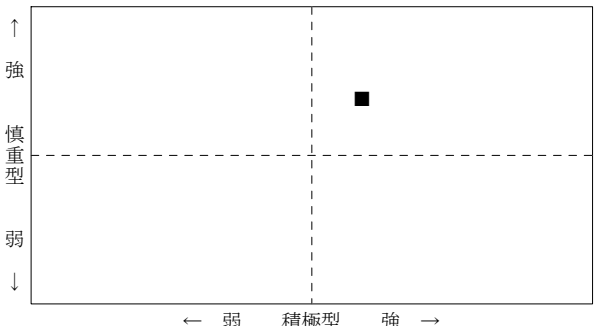
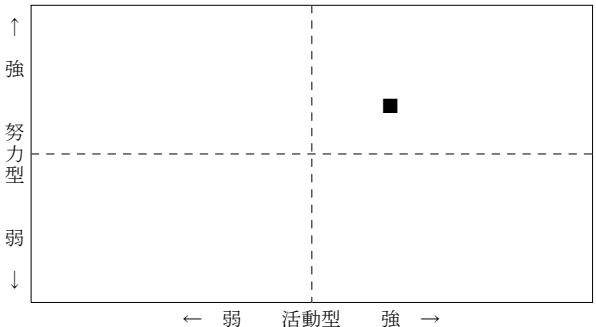
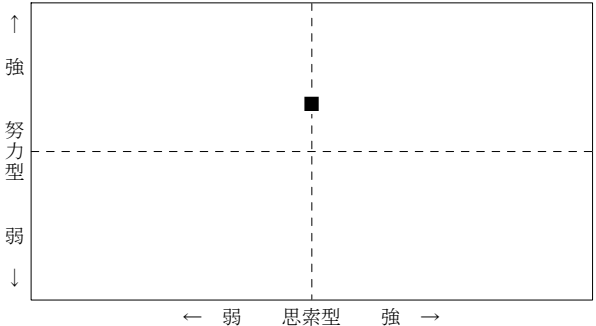
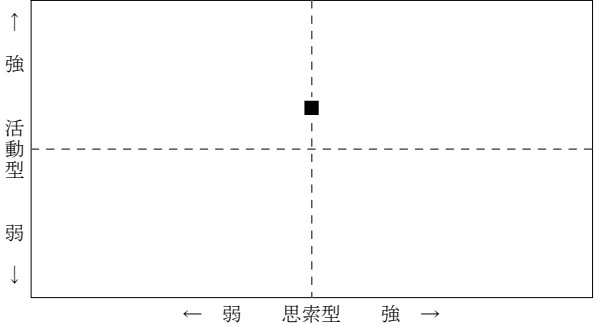
自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。

モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「人より優位に立ちたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

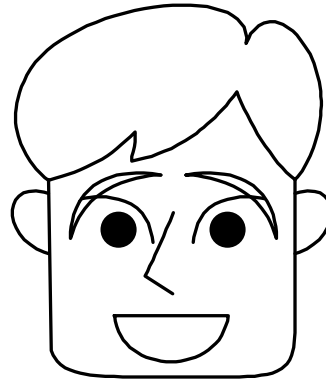
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

- 眉の太さ：指導性
- 眉の傾き：従順性
- 瞳の直径：達成欲求
- 目の傾き：達成欲求+求知欲求
- 鼻の高さ：顕示欲求
- 口の形状：親和欲求+協調性
- 顔の輪郭：性格類型
- 逆三角顔 = 思索型
- 丸顔 = 活動型
- エラ顔 = 積極型
- 角顔 = 努力型
- 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気				管理・対人能力				思考能力							
積意根責決	極欲気任断	実熱強感勇	行意さ気	指導力	リ ダ 頼	自 己 信 力 頼	調 整 力	折 衝 力	独 創 斬 新	現 状 分 析	洞 察 力	企 画 立 案	専 門 知 識	情 報 活 用	
B	A	A	A	C	B	A	B	B	C	C	B	B	C	B	C
A				B				C							

【採用判定】

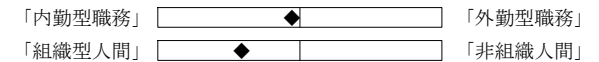
定着性・安定性 = 10

CUBICの判定結果 = 「B」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		73
(2) 海外など精神力の必要な職務		53
(3) 足腰のよさが武器になる職務		51
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		62
(5) 標準化された仕事や工場労働		67

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- 「最適」営業など対人的接触をとまなう仕事
- 「適切」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性1

《適性の高い順》

- 「最適」営繕専任者
- 「最適」経理専任者
- 「適切」秘書専任者
- 「適切」経理管理者
- 「適切」基礎研究者
- 「適切」基礎研究管理者

《低い順》

- 「適度」企画管理者
- 「適度」研究管理者
- 「適度」営業管理者
- 「適度」研究開発者
- 「適度」営業専任者

【判定結果E】配置適性2

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 「最適」受注窓口 | (1) 「努力」顧客開発 |
| (2) 「最適」秘書 | (2) 「小適」研究開発 |
| (3) 「最適」倉庫 | (3) 「小適」調査分析 |
| (4) 「最適」営業アシスト | (4) 「小適」新規事業開発 |
| (5) 「最適」庶務 | (5) 「適度」経営企画 |
| (6) 「最適」人事 | |